

# 『社会科学のためのベイズ統計モデリング』

## 第 1 刷正誤表

2020 年 2 月 27 日更新

### p.25 下から 11 行目

確率モデルをサンプルの実現値に対応させて→  
確率モデルにサンプルの実現値をあてはめて

### p.92 下から 3 行目の式 右辺

$$\begin{aligned} -\frac{1}{p} &\rightarrow -\frac{1}{q} \\ -\frac{1}{1-p} &\rightarrow -\frac{1}{1-q} \end{aligned}$$

### p.99 下から 3 行目

最尤法では、一般的には、以下のことを想定します  
→ 最尤法を用いた場合について、以下を仮定します.

### p.102 6 行目

ベイズ推定では、一般に以下のことを想定します. → ここでは以下のことを仮定します.

### p.104 注 12

(単純にいうと無限に発散しない) → (直感的に言えば発散しない)

### p.109 下から 10 行目

第 6 章で紹介した WAIC → 第 6 章で紹介した WBIC

**p.118 コード例の括弧内 セミコロンを追加**

```
target += normal_lpdf(X|mu,sigma)
```

```
→ target += normal_lpdf(X|mu,sigma);
```

```
target += cauchy_lpdf(sigma | 0, 5 ) - cauchy_lccdf(0 | 0, 5 )
```

```
→ target += cauchy_lpdf(sigma | 0, 5 ) - cauchy_lccdf(0 | 0, 5 );
```

**p.176 9行目**

平均は  $b = 0.48$  → 平均は  $b = 0.50$

**p.178 10行目**

平均は 0.48 でした → 平均は 0.50 でした